



災害に強いまちづくりの  
治水機能の向上について  
小林 修 (市民と共に働く会)

**問** 本市を襲った台風19号により総雨量255mmの大雨が降り、緑町、向町、佐間2丁目等で床上、床下、車両水没等の甚大な被害が発生した。原因は忍川の越水と内水氾濫によるもので、荒川が氾濫危険水位に達し、佐間水門から武蔵水路に放流できなくなり、被害が増大した。忍川は雨水排水の生命線であり、早急に対処しなければならぬ。埼玉県に提出した忍川改修要望書の内容と回答は。

**答** 忍川の治水機能の向上は、喫緊の課題であり、河川管理者である埼玉県に忍川の拡幅や調節池の早期整備を要望した。現地の状況を十分調査、検証し、対策を検討することである。

**問** 暫定的、短期的な対策の実施は。

**答** 現在、現況の堤防高や河道内の土砂堆積状況等を調査中であり、調査結果を基に有効な対策を検討したい。

**問** 床上被害の大きかった緑町、向町地区の内水排除対策の本市の計画は。

**答** この度の被害は甚大であり、関係機関と連携し、できる限りの対策を講じていきたい。

**問** 南大通り沿線の土地利用について

**答** 都市計画マスタープランによる幹線道路沿線の土地利用検討ゾーンの見直しは。

**問** 沿線の多くは農業施策において守るべき優良農地であり、土地利用が厳しく、関係法令との整合、開発手法の検討や将来人口、産業構造等、解決すべき課題が多い。

**問** 都市計画法第34条11号区域の拡大の考えは。

**答** 無秩序な宅地の拡散抑制や良質な宅地水準の確保等慎重に研究したい。



市内循環バスの利便性の向上とデマンドタクシーの充実  
橋本祐一 (みらい)

**問** 循環バスの路線を見直し、J R行田駅と秩父線行田市駅を結ぶ路線を強化し、両駅の利便性を向上させる考えは。

**答** 現在、両駅を結ぶ路線として、観光拠点循環コースがある。その他の路線においてもバスターミナルで乗り継ぐことで両駅に向かうことができ。両駅を結ぶ路線の強化については、5年ごとに行う運行体系の見直しの中で検討する。

**問** 朝夕の時間帯の増便を図り、通勤・通学の利用者にとつて、使いやすいようにすべきでは。

**答** 西循環コース、南大通り線コースでは、早朝から夜遅くまで運行しているが、より利便性の高い運行ができるよう今後、検討していく。

**問** 朝夕の通勤・通学の時間帯に1時間に4本程度の運行をしようか。

**答** 利便性の向上という意味では有効であるが、実際の利用状況等を考慮し、次回のルート見直しの際の参考にしたい。

**問** デマンドタクシーについて、増車等を検討して、より利用しやすくする考えはあるか。

**答** 本年6月に事業者へ増車を要請した結果、1事業者が10月に3台増車したところである。今後指定乗降場所の新設や見直しなど充実に努める。

**問** 利用時間について、開始時間及び終了時間を延長する考えは。

**答** タクシーの台数等を勘案すると現状の営業時間が一番運行しやすい状況である。延長という声は多々あるので今後の課題として検討する。

**その他の主な質問**

○子供のアレルギー対策 (エビペンの使用対策)

○本丸児童公園S1保存



国民健康保険への国庫負担増を求め国保引き下げを  
村田秀夫 (日本共産党)

**問** 今年3月に県へ提出した「赤字削減・解消計画」のとおり、市の一般財源繰り入れを削減していくと、国保制度そのものが破綻してしまう。市の繰り入れを増やし、国保の引き下げを。

**答** 将来の県内保険料水準の統一を見据え、これ以上の一般財源の投入は難しい。

**問** 市長が先頭に立ち国庫負担の増額を国に求め、一般のサラリーマンが加入する協会けんぽ並みの保険税額に引き下げを。

**答** 今年7月に全国市長会において国に対し、国庫負担増や、さらなる低所得者の保険税の軽減、子ども均等割の軽減措置の新設などを要望した。

**問** 国保制度は、高齢者や低所得者が多数を占め、抜本的な制度改革が必要である。市長は国に対して毅然とした態度を。

**答** 国がさらに公費を投入しなければ成り立たなくなる。市町村の努力だけでは難しい構造的な問題であり、財政支援強化を申し入れていきたい。

**●新ごみ処理施設**

**問** 余熱利用施設は本当に必要か。市民、地元住民の声を聞いているのか。

**答** 温浴施設ありきではない。地元の皆さんの意見を聞きながら検討していきたい。

**問** 市民が納得と安心を得られる説明会の開催を。

**答** 市民、議員とともにこの問題を解決したい。説明会を開き、納得できる形で進めたい。

**●人権施策について**

**問** 同和は聖域なのか。団体への補助金、同和事業の見直しを。

**答** 聖域とは考えていない。補助金については、効果の検証を行いながら削減に努めている。